

1 単元名 第4学年 「自然の様子」

2 本時の計画(副読本 P8~10, デジタルコンテンツ No3)

(1)本時のねらい

新潟県の自然の様子について、写真や図から地形の特徴を見つけ場所を特定する活動を通して、地形の特徴を大まかにつかむことができる。(知識・技能、思考力・判断力・表現力等)

(2)本時の展開

学習活動	○教師の働き掛けと・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
導入 (10分) 1 新潟県の地図を見て、気づいたことを発表する。 2 地図の見方を知る。	○新潟県の地図を見て、気づいたことや思ったことなどを発表しよう。 <ul style="list-style-type: none">・大きい。細長い。・海岸は緑で、内側は茶色。・茶色の部分が多い。など ○地図の見方を説明する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"><p><学習課題>写真や図は、地図のどこだろうか。</p></div>	◆指導上の留意点■評価 <ul style="list-style-type: none">◆拡大した表紙裏の新潟県の地図を、掲示する。地図の中に番号を示しておく。◆県境に山々が連なっていることを抑える。◆等高線(色の違い)や方位などについて説明をする。
展開 (25分) 3 写真や絵の場所は、地図のどこであるか考える。	○写真や図の場所は、地図のどこでしょうか。 <ul style="list-style-type: none">① 越後平野の写真<ul style="list-style-type: none">・田んぼが広がっている。・奥に山がある。・緑のところ○番だね。② 関川盆地の図<ul style="list-style-type: none">・山の中にある。・中央に川が流れている。・山の中の○番だね。③ 津南の河岸段丘の写真<ul style="list-style-type: none">・階段みたいになっている。・川が下にあるよ。・川沿いの○番だね。	◆拡大した写真や絵を提示する。 <ul style="list-style-type: none">◆見る観点(土地の様子や川など)を知らせるようにする。◆平野について説明をする。◆他の主な平野も調べる。◆盆地について説明をする。◆他の主な盆地も調べる。
終末 (10分) 4 分かったことをまとめます。	○平野・盆地・河岸段丘など、習った言葉を用いて、新潟県の地形の特徴をまとめよう。	◆河岸段丘について説明をする。 ■新潟県の自然の様子についてまとめられる。

新潟県地図

縮尺 75万分の1 0 5 10 15 20 km

日に

ほん

かい

佐渡島

佐渡

山

海

北

東

南

西

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

右

前

後

上

下

左

3 第2時の計画(副読本P13, 14, 46, 65~67, デジタルコンテンツ No.16-10 No.23 No.40) 2/2時

(1) 本時のねらい

生活経験や資料をもとに、克雪や利雪について知り、雪の利用や対策を考えることができる。

(思考力・判断力・表現力等)

(2) 本時の展開

学習活動	○教師の働き掛けと・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価																
導入（5分） 1 前時の学習を想起する。	○新潟県はなぜ雪がたくさん降るのだろう。 ・冷たい季節風が関係している。 ・日本海でできた雲が山脈にぶつかって雪が降る。	◆P13 県内の主な地点の積雪量を提示する。																
展開（30分） 2 雪対策を考え、グループで話し合ったり、資料から読み取ったりする。 3 雪の活用方法について話し合ったり、資料から読み取ったりする。	<p>○雪が多く降ると困ることは何だろう？人々はどのような雪対策をしているだろう。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>困ること</th><th>対策</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路が通りない</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・消雪パイプや防雪柵が道路にある。 ・朝早くから除雪してくれている。 ・車にスコップを積んでいる。 </td></tr> <tr> <td>建物がつぶれる</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・家の屋根の形を工夫している。 ・雪下ろしをしている。 </td></tr> <tr> <td>・雪は悪いばかりでもないのでは？</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>○雪が降ると良いことは何だろう？人々は雪をどのように利用しているのだろう？</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>良いこと</th><th>効果</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雪で遊んだりスキーをしたりできる</td><td>スキー場や雪まつりなどの観光に生かす。</td></tr> <tr> <td>とけると水になる</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・米作りに利用されている。 ・冷たい雪解け水がおいしいお米につながる。 </td></tr> <tr> <td>食べ物を冷やせる。</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・雪下野菜や雪室〇〇って聞いたことがある。 ・かんずり </td></tr> </tbody> </table>	困ること	対策	道路が通りない	<ul style="list-style-type: none"> ・消雪パイプや防雪柵が道路にある。 ・朝早くから除雪してくれている。 ・車にスコップを積んでいる。 	建物がつぶれる	<ul style="list-style-type: none"> ・家の屋根の形を工夫している。 ・雪下ろしをしている。 	・雪は悪いばかりでもないのでは？		良いこと	効果	雪で遊んだりスキーをしたりできる	スキー場や雪まつりなどの観光に生かす。	とけると水になる	<ul style="list-style-type: none"> ・米作りに利用されている。 ・冷たい雪解け水がおいしいお米につながる。 	食べ物を冷やせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・雪下野菜や雪室〇〇って聞いたことがある。 ・かんずり 	<p>◆新潟県の雪は重いことを伝える。</p> <p>◆デジ23 スノーシェッド ◆P65の写真を小出しに提示し、資料から考えさせる。</p> <p>◆デジ40 十日町市の冬の主要イベント ◆デジ16-10 小千谷縮 ◆P66,67の写真を小出しに提示し、資料から考えさせる。</p> <p>■新潟県の気候の特色をとらえ、これまでの生活経験から雪と人々のかかわりを考えたり、資料から読み取ったりしている。</p>
困ること	対策																	
道路が通りない	<ul style="list-style-type: none"> ・消雪パイプや防雪柵が道路にある。 ・朝早くから除雪してくれている。 ・車にスコップを積んでいる。 																	
建物がつぶれる	<ul style="list-style-type: none"> ・家の屋根の形を工夫している。 ・雪下ろしをしている。 																	
・雪は悪いばかりでもないのでは？																		
良いこと	効果																	
雪で遊んだりスキーをしたりできる	スキー場や雪まつりなどの観光に生かす。																	
とけると水になる	<ul style="list-style-type: none"> ・米作りに利用されている。 ・冷たい雪解け水がおいしいお米につながる。 																	
食べ物を冷やせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・雪下野菜や雪室〇〇って聞いたことがある。 ・かんずり 																	
終末（10分） 4 本時の学習を振り返る。	<p>○自分の地域の雪利用について調べてみたい。</p>																	

1 単元名 第4学年 「気候の様子」

2 第1時の計画(副読本P13~15 デジタルコンテンツNo4) 1/2時

(1) 本時のねらい

地形や季節風の影響などにより、雪がたくさん降ることを理解し、説明することができる。

(知識・技能)

(2) 本時の展開

学習活動	○教師の働き掛けと・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
導入（15分） 1 グラフを完成させ、新潟県は、たくさん雪が降ることをとらえる。	○上越市と東京の気温や降水量のグラフを完成させ、似ていることや違うことを考えよう。 <ul style="list-style-type: none">夏はどちらも暑い。年間を通して上越市の方が降水量が多い。上越市は冬が特に降水量が多いのはなぜだろう。新潟県は雪が多く降るから冬の降水量が多い。2m以上積もあるところもある。平野にはあまり積もっていないなあ。上越や中越の山沿いがたくさん積もる。	◆P13 気温と降水量のグラフ ◆冬の東京（晴）と新潟（雪）の写真を提示し、生活経験を想起させる。 ◆P13 県内の主な地点の積雪量を提示する。 ◆P87 を用いてもよい。
展開（23分） 2 新潟県にたくさん雪が降る理由を考えたり、資料から読み取ったりする。	<p style="text-align: center;"><学習課題></p> <p>新潟県にたくさん雪が降るのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none">山の方がたくさん降るのは、よくニュースで見る。地図の真ん中の方がずっと山地になっている。でも山だからと言って降るわけでは… <p>○この4枚の雲画像の共通点は何だろう？</p> <ul style="list-style-type: none">大雪の日は全て西から雲が動いてくる。越後山脈に日本海でできた雪雲がぶつかって雪を降らせる。	◆デジ4 日本海側に雪が多くふるしきみの4枚の雲画像をもとに共通点を考えさせ、季節風に気付けるようにする。 ◆P14 日本海側に雪が多く降るしきみを提示し、グループごとに言語化させる。 ◆P15 の図をもとに季節風やフェーン現象についても触れる。
終末（7分） 3 本時の学習を振り返る。	<p style="text-align: center;"><まとめ></p> <p>冷たい季節風が海から上がる水蒸気を含み、雪雲となる。その雪雲が越後山脈にぶつかりたくさんの雪を降らす。</p> <ul style="list-style-type: none">他の日本海側の地域はどうなのか自主学習で調べてみよう。	◆話し合ったことを基に、自分なりにノートにまとめる。 ■地形や季節風の影響などにより、雪がたくさん降ることを理解し、自分の言葉で適切に表現している。

1 単元名 第4学年 「産業の様子【農業】」

2 本時の計画(副読本 P16~20, デジタルコンテンツ No5・6・7)

(1) 本時のねらい

新潟県の農業の様子について、主な産地や作物、生産者の工夫や努力などを調べることを通して、その特色を理解することができる。

(知識・理解)

(2) 本時の展開

学習活動	○教師の働き掛けと・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
導入（5分） 1 新潟県で栽培がさかんな作物のクイズの答えを考える。	○新潟県の作物のクイズを出すよ。第1問、お米の生産量は全国何位かな。 ○○の生産量は全国何位かな。… ・お米は知ってる。新潟県は全国1位で有名だよ！ ・枝豆やそら豆も順位が高いんだね。 ・球根やゆり、鉢物とか花の生産がさかんなのは初めて知った。 ・もも、なしとかは近くの畑でもよく見るよ。 ○じゃあ、今日の課題は、どんなことを調べたらよいかな。	◆P16 全国で順位の高い農産物の資料を使ってクイズを出す。
展開（35分） 2 副読本 P16~20 に目を通して、詳しく調べたい内容を選ぶ。	○米づくりや野菜づくりなど、どの作物について調べたいかな。 ・ぼくはやっぱり1位の米づくりだな。 ・野菜は種類がいっぱいありそうだから調べてみたい。 ・ルレクチェとか聞いたことがあるからくだものを調べてみようかな。 ・花は順位が高いのが多いから、花にしてみよう。 ○じゃあ、それぞれ選んだ人同士でグループを組んで調べよう。調べたことは、最後に伝え合うよ。	◆P17 米づくり、P18 野菜づくり、P19 くだものづくり、P20 花づくり・ちく産から1つ選んで調べさせる。 ⇒児童の実態に合わせ、調べる内容ごとにグループを組む。 ◆なるべく人数が均等になるようにする。 ⇒生活班などを用いて、ジグソーラーニングのようにも良い。 ◆最後の発表するときの形式や時間などを予め伝える。
3 自分が選んだ内容について、グループで協力しながら調べる。	○副読本を読むだけでなく、タブレットを使って、デジタルコンテンツを見てみてもいいよ。 ・米づくりでは、自動田植え機やドローンを使った新しい取組もしてるんだ。 ・くろさき茶豆を作る農家さんは、農薬	◆副読本の本文を読んだり、デジタルコンテンツを見たりしながら、調べさせる。 ◆デジ5 新たな米づくりの取り組み ◆デジ6 くろさき茶豆

	<p>を少なくしたり、土の分析をしたりして工夫しているんだね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西洋なしのルレクチエは、収かくから出荷まで、たくさんの人の手が加わっているのにおどろいたな。 ・信濃川や阿賀野川などの大きな川があるから、花の栽培がさかんなんだね。 <p>○それぞれのグループで調べたものを発表しよう。他のグループの発表を聞いたものは、ノートにまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県は、コシヒカリだけじゃなくて、新之助という新しい品種の栽培も増えています。 ・地いきの特ちょうを生かした野菜を作っていて、「くろさき茶豆」など、国に認められているものもあります。 ・くだもの農家の人は、より良い土づくりをしたり、木の手入れをしたりして、おいしいくだものを生産しようとっています。 ・ユリは魚沼市や津南町、アザレアは、新潟市秋葉区や南区など産地ごとに生産される花が違います。 <p>○新潟県ではどのような農業がさかんなのかをそれぞれの発表からまとめよう。</p>	<p>◆デジ7-1・7-2・7-3 日本なし・西洋なし等</p> <p>◆QRコード 花き-新潟県HP 新潟県畜産協会HP</p> <p>◆ICTを用いて、発表させたり、まとめたりしても良い。</p> <p>◆産地の特徴を生かしていることや生産者が工夫していることなどについて、共通していることを捉えさせる。</p>
<p>4 グループごとに調べた内容を発表する。 他のグループの発表を聞いて、それぞれの特色をまとめる。</p> <p>終末（5分）</p> <p>5 今日の授業の振り返りを書く。</p>	<p>○まとめを書いた人から、今日の振り返りを書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしは、産地ごとに作っている花の種類が違うことを調べました。野菜づくりやくだものづくりも産地ごとに作物が違うと言っていたので、新潟県は地いきの特ちょうを生かして農業をしていることが分かりました。 ・ぼくは、野菜づくりについて調べたけれども、くだものづくりも同じように農家の人がいろいろな手間をかけて工夫していることが分かりました。 	<p>◆上記の共通していることを振り返りの内容に入れて書けるように促す。</p> <p>■新潟県では、米づくり以外の農業がさかんなことやその理由を記述している。</p>

1 単元名 第4学年「産業の様子【林業】」

2 本時の計画（副読本 P21～22、デジタルコンテンツ No. 10）

(1) 本時のねらい

新潟県の林業について、林業の盛んな地域の取組や森林保護活動などについて調べることを通して、県内の林業の特色を理解することができる。（知識・技能）

(2) 本時の展開

学習活動	○教師の働き掛け・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
導入（5分） 1 学習課題を設定する。	<p>○突然ですが問題です。新潟県は、まいたけの栽培第何位でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・2位ぐらいじゃない。・もしかして1位。 <p>○実は、新潟県が1位です。さて、魚をとつたり育てたりする仕事を漁業といいます。では、きのこの栽培は何業でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・農業じゃない。・きのこ業かも。 <p>○正解は、農業でもあり林業でもあるそうです。</p> <ul style="list-style-type: none">・林業って木を切る仕事じゃないの。 <p>○林業は、木を切る仕事ですか。</p> <ul style="list-style-type: none">・木を切って何かを作る仕事だと思った。・林業ってどんなことをするのだろう。	<p>◆デジタルコンテンツを見せながら導入を進める。</p> <p>◆デジ10 林業</p>
展開（35分） 2 林業について予想する。（5分）	<p>◇きのこ栽培は、「農業」の分類だが、木を活用しているので、林業の生産に「きのこ栽培」も含まれていることを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"><p>＜学習課題＞</p><p>新潟県では、どのような林業が行われているのだろう。</p></div> <p>○林業には、きのこの栽培以外にどんなものがあると思いますか。予想しよう。</p> <ul style="list-style-type: none">・木を切って、それが家の材料になる。・木を使って、何か作っている。・あとは分からない。 <p>○木を切るという意見が多いようですね。ちなみに、新潟県は木が多いのですか。</p> <ul style="list-style-type: none">・木はいっぱいある。・山が多いし、林や森もあるから多いと思う。 <p>○副読本のどこかに木が多いことは載っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・P. 16 に絵地図があるよ。森林が多い。・P. 21 に林業のことも書いてある。	<p>◆林業には、どのような仕事があるのか予想させる。</p>
3 林業について、副読本などを使って調べる。（10分）	<p>◆副読本 P. 8、16、21～22にある、林業に関わるページを参考にする。</p> <p>◆副読本だけでなく、デジタルコンテンツなども使って調べてよいことを伝える。</p> <p>◆デジ10 林業</p>	

	<p>だね。</p> <ul style="list-style-type: none"> 森の手入れもしているんだね。同じ小学生が森の手入れを手伝っている。 <p>○調べて分かったことをペアに伝えましょう。</p> <p>○新潟県ではどのような林業を行っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新潟県の面積の3分の2が森林で、天然杉や人工林が植えられている。 村上市が林業のさかんな地域である。 切られた木は、紙や家具の材料になる。 まいたけ以外のきのこの栽培も行われている。 木炭やまきも作られている。 森の手入れをして、山崩れや雪崩が起きないようにしている。 <p>○切った木を加工したり、森の手入れをしたりしているのですね。どうして新潟県では、林業が盛んに行われているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新潟県は森林が多いから。 その森林の中でも、全国的に有名な杉が生えているから。 森林が多いから、きのこや山菜もたくさん採れる。 <p>○新潟県は森林が多くあるから、林業が盛んに行われているのですね。</p>	<p>◆新潟県の林業の特色について調べたことを、学級全体で確認する。</p> <p>◆新潟県で林業が盛んに行われている理由について、問い合わせ發問を行って確認する。</p>
<p>4 調べて分かったことをペアに伝える。(5分)</p> <p>5 林業について分かったことを全体で確認する。(15分)</p> <p>終末(5分) 6まとめを書く。</p> <p>7振り返りを書く。</p>	<p>＜まとめ＞</p> <p>新潟県は、森林が多くあり、切った木を加工したり、きのこのさいばいをしたり、森を守ったりする林業が行われている。</p> <p>○まとめを書いた人から、今日の振り返りを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> わたしは、木を切るだけでなく、切った木を加工したりきのこの栽培をしたりすることも林業の仕事だと分かった。 新潟県は森林が多いから、林業が盛んにおこなわれていると思った。他の県の林業はどうなっているのか、これから調べてみたい。 ぼくは、林業は木を切るだけと思っていたけど、きのこの栽培も林業に入ることに驚いた。切った木を加工して、家具や紙を作ることも分かった。 	<p>■新潟県の林業の特色について記述している。</p>

1 単元名 第4学年 「産業の様子【水産業】」

2 本時の計画（副読本 P23～25, デジタルコンテンツ No.13 16-9）

(1) 本時のねらい

新潟県の水産業について、主な水産物の種類や漁獲量、産地の分布を調べることを通して、県内の水産業の特色を理解することができる。（知識・技能）

(2) 本時の展開

学習活動	○教師の働き掛けと・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
導入（5分） 1 予想する。	○新潟県では、どんな魚がたくさん獲れるだろうか。 ・まぐろ・ぶり・さけ・あゆ ○その魚はどこで獲れるだろうか。 ・佐渡・日本海・川でもとれる	◆新潟県で、どんな魚が、どこで獲れるのかを予想させる。
2 学習課題を設定する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p><学習課題> 新潟県では、どこで、どんな魚が多くとれるのだろうか。</p></div>	
展開（32分） 3 漁獲量の多い市町村や魚の種類を調べる。 4 魚がよく獲れる理由を調べる。 5 「育てる漁業」（かきの養殖）について調べる。 6 海以外で獲れる魚を調べる。 終末（8分） 7 まとめをする。	○副読本で調べる。 ・新潟市が一番、水あげ量が多い ・陸から近いところ（沿岸）が多い ・かにが一番多い。・あじ、ぶりも多い ○なぜ、新潟市や佐渡で多く魚が獲れるのだろうか。 ・暖流の影響・プランクトンが多い。 ・藻場や漁礁という魚のすみかがある。 ○魚を獲るだけでなく育ててもいる。 ・かきは1年かけて大きくなる。 ・害になる貝を熱湯に付けて取る。 ○魚が獲るのは海だけはない。 ・さけは川に戻ってくる・見る魚もいる	◆P23・24 ◆調べたことをノートに書くようにさせる。 ◆藻場や漁礁に触れ、水産業にかかわる人たちは、水産資源を守っていることを押さえる。 ◆デジ13 ◆P25 ◆デジ16-9
8 振り返りをする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p><まとめ> 新潟県では、新潟市沿岸で、かに・あじ・ぶりがよくとれる。</p></div>	■魚がよく獲れる理由（海流・プランクトン・藻場・漁礁）を具体的に挙げて説明している。

1 単元名 第4学年「産業の様子【工業】」

2 本時の計画（副読本 P26～29、デジタルコンテンツ No. 14）

(1) 本時のねらい

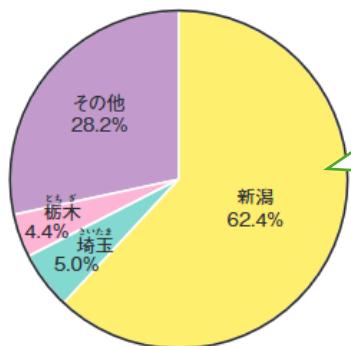
新潟県の工業について、主な工業製品や工業がさかんな市町村を調べることを通して、県内の工業の特色を理解することができる。（知識・技能）

(2) 本時の展開

学習活動	○教師の働き掛け・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
導入（10分）	<p>○工業って何だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・自動車や機械をつくること。・何かをつくること。 <p>○P28 の円グラフが表す、新潟県が出荷額1位の工業製品はなんだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・米菓も工業製品なのか。・新潟県でさかんな工業はなんだろう。	<p>◆工業とは、原材料を加工して製品をつくることであるとおさえる。</p> <p>◆ワークシートや「わたしたちの新潟県」プラスを活用し、全員に円グラフを提示する。</p>
2 学習課題を設定する。	<p>＜学習課題＞</p> <p>新潟県では、どのような工業がさかんなのだろうか？</p>	
展開（30分）	<p>○P26 の種類別出荷額の図と割合の帯グラフから、新潟県でさかんな工業を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none">・機械製品や鉄・金属製品がさかんだ。・食料品やせんい、木材・家具も工業だ。 <p>○年度別に比較して調べる。</p> <ul style="list-style-type: none">・繊維工業は工場数、働いている人、出荷額の割合が年々減っている。・化学工業は割合が増えている。 <p>○副読本を読んで調べる。</p> <ul style="list-style-type: none">・燕市は洋食器が有名。・五泉市、見附市、長岡市、加茂市で生産されるニット製セーターが全国でも有名。・伝統的な工業もたくさんある。	<p>◆P28 やデジ 14 を活用し、各工業の特色をおさえる。</p> <ul style="list-style-type: none">・賃金の安い外国で製造することで工場数が減ったり、従業員の高齢化による後継者不足が問題となったりしていることにも触れる。 <p>■新潟県の工業について、全体の傾向や特色のある地域について具体的に書いている。</p>
終末（5分）		
5まとめをする。		
6ふり返りをする。	<p>＜まとめ＞</p> <p>新潟県では、機械製品や鉄・金属製品の出荷額が多く、洋食器やニット製セーターが全国的に有名。</p>	

新潟県の産業の様子【工業】ワークシート

年 組 番 名前 ()



答えは・・・

の出荷額！！



新潟県の工業出荷額が1番多いのは



2番目に多いのは

3番目に多いのは

4番目に多いのは

工業

工業

工業

工業

「わたしたちの新潟県」のP27～P28を読んで、新潟県のどこでどんな工業がさかんなのか調べてみよう！

（記入用）

まとめ

1 単元名 第4学年「政令指定都市新潟市と下越・佐渡地方」

2 本時の計画（副読本 P30～35 デジタルコンテンツ「新潟県市町村クイズ：下越・佐渡地方編」）

（1）本時のねらい

新潟県下越・佐渡地方の市町村について、市町村の位置を調べ、特色をクイズにしてまとめることを通して、新潟県下越・佐渡地方の様子を捉えることができる。（思考力・判断力・表現力等）

（2）本時の展開

学習活動	○教師の働き掛け・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
導入（15分） 1 今日の学習内容を確認する。 2 新潟県下越・佐渡地方市町村名の一覧の資料からこれまでの経験で聞いたり、知ったりしていることを出し合い、共有する。 3 市町村クイズで、市町村の位置とだいたいの特色を知り、クイズの行い方を知る。	○今日は新潟県の下越・佐渡地方の主な市町村の位置や特色を学習します。 ○新潟県の下越地方には例えばこれだけの市町村があります。 <ul style="list-style-type: none">・新潟市がある！いったことがあるよ！・阿賀野市のサントピアワールドへは行つたことがあるよ！・佐渡は、世界遺産に登録されたね！行つてみたいな。 ○今から市町村クイズをします。答えはこの資料1の一覧の中にあります。予想しながら答えてみよう。 ○第1問この市町村はどこでしょう。 ○まだ出てきていない市町村のクイズもありますね。今日は、下越・佐渡地方の位置や特色についてのクイズづくりをして、友達と出し合いましょう。	◆「特色」の用語の意味をおさえる。 ◆下越・中越・上越の解説をする。（副読本 P30、1行目～10行目を使う。） ◆資料1「新潟県下越地方の市町村名一覧」を提示する。 ◆デジ児童の様子を見て教師がクイズを出す市町村を選んだり、問題数を制限したりして出す。 ◆クイズづくりの観点として「市町村の位置」「地形」「産業の分布」「交通網」「特産品」等を示す。 ◆児童が興味のある市町村を選んでネームプレートを貼り可視化する。友達どうして行ってもよい。
展開（25分） 4 自分が興味のある市町村を選び、クイズづくりをする。	○どの市町村にしますか。選んで黒板にネームプレートを貼ってみましょう。 <ul style="list-style-type: none">・ぼくは、新潟市にしよう。・わたしは、新発田市にしよう。温泉についてのクイズを出してみたい。	

5 市町村地図帳や副読本を使って調べ、クイズを作る。	<p>○では、副読本デジタルコンテンツのクイズを見本に、自分でクイズを作つてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村上市は笹川流れを聞いたことがあるから海の近くかな。 ・あ、新潟県の一番北にあるぞ。 ・鮭料理が有名なんだね。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆クイズ作りはタブレットで行う。ロイロノートやクイズ作成アプリを使つてもよい。 ◆教科書や副読本、タブレット等を使用して情報を集める。 ◆市町村の位置は、白地図にまとめさせる。白地図を配布する。
6 グループでクイズを出し合う。	<p>○では、グループでクイズを出し合つてみよう。</p>	<p>◆クイズを出し合うグループは、クラスの実態に合わせる。黒板のネームプレートを利用して調べた市町村が被らないようにする。</p>
終末（5分） 7 学習のまとめと振り返りを行う。	<p>○今日の学習の振り返りをしましょう。</p>	<p>■下越・佐渡地域の市町村の位置や特色について、クイズでまとめ、新潟県下越・佐渡地方の様子を捉えている。</p>

資料 1

「新潟県下越・佐渡地方の市町村一覧」

にいがた 新潟市	せいろう 聖籠町
しばた 新発田市	あが 阿賀町
むらかみ 村上市	やひこ 弥彦村
つばめ 燕市	せきかわ 関川村
ごせん 五泉市	あわしまうら 粟島浦村
あがの 阿賀野市	
たいない 胎内市	
さど 佐渡市	

1 単元名 第4学年「わたしたちの新潟県の様子 市・町・村【長岡市と中越地方】」

2 本時の計画（副読本 P36～39 デジタルコンテンツ「新潟県の伝統的工芸品」1～13、「新潟県市町村クイズ」、「新潟県の市町村パワーポイント」、「中越地方の市町村」、「長岡まつり大花火大会」）

(1) 本時のねらい

長岡市と中越地方の歴史や特産品、行事について調べ学習することを通して、伝統や文化、先人の働きについて理解することができる。（知識・理解）

(2) 本時の展開

学習活動	○教師の働き掛け・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
導入（10分） 1 新潟県の地理的環境について学習したことを見直す。 復習する。	<ul style="list-style-type: none">○新潟市や下越、佐渡地方について学習してきました。どんなことが分かりましたか？<ul style="list-style-type: none">・新潟市には県庁や万代シティがあつあつたよ。・下越地方には、新発田市に新発田城があつた。・佐渡市の金山は、世界遺産に認定されたよね。○佐渡・下越地方のクイズに答えましょう。中越地方の問題にも挑戦しましょう。<ul style="list-style-type: none">・長岡市は花火が有名！・中越地方はまだよく分からない。・南魚沼市は米が有名だよね。○それでは、今日の課題は、どんなことを調べたらよいかな？	<ul style="list-style-type: none">◆デジタルコンテンツでクイズに答えさせ、関心をもたせる。◆長岡市、中越地方の市町村についての知識を表出させる。
展開（30分） 2 副読本P36～39やデジタルコンテンツに目を通したりして調べる。	<p style="text-align: center;"><学習課題></p> <p style="text-align: center;">長岡市や中越地方では、どのような特産品や行事、施設があるのかな？</p> <ul style="list-style-type: none">○どの市町村について調べたいかな？<ul style="list-style-type: none">・ぼくは長岡市かな。・米について知りたいから南魚沼市について調べよう。	

	<p>○副読本やデジタルコンテンツを使って調べ学習をしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市には、長岡花火やアオーレ長岡があるんだね。 ・長岡市にはとても長い歴史があるよ。 ・ひまわりやあじさいなどの花が有名な場所もあるんだね。 	<p>◆デジタルコンテンツなどを活用して調べ学習をさせる。</p> <p>◆必要に応じてインターネットで用語について検索する活動も取り入れてもよいが、情報が多くなることに注意する。</p>
3 調べた内容を発表し、まとめる。	<p>○調べたことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十日町市や魚沼市、南魚沼市、湯沢町には雪が関係しているね。 ・刃物を作っているところがいくつかあるね。 ・長岡市や柏崎市、小千谷市は花火が有名なところが一緒だね。 	<p>◆地域の特色の共通点を捉えさせる。</p>
終末（5分） 4 授業の振り返りを書く。	<p>○今日の振り返りを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市や中越地方にはいろいろなものがあると分かったが、雪に関係していることが多いことが分かった。 ・花火や雪以外にも、織物が有名な地域がいくつかあることが分かった。 	<p>■長岡市や中越地方について分かったことや共通点を記述している。</p>

1 単元名 第4学年「交通の様子【道路】」

2 本時の計画（副読本 P43～46 デジタルコンテンツ「新潟県の交通」）

（1）本時のねらい

新潟県内の道路について、県内を通る高速道路を調べることを通して、その特色を理解することができる。（知識・技能）

（2）本時の展開

学習活動	○教師の働き掛け・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
導入（5分） 1 学習課題を設定する。	<p>○みなさんは、県外に旅行に行くとき、高速道路を利用しますか。 ・高速道路を使って県外に行った。 ・東京まで車で行ったことがある ○ここで問題です。県内の高速道路を全部つなげると新潟市からどこまで行けるでしょうか。三択です。 ・①の東京ぐらいじゃない。 ○正解は③の北海道です。県内の高速道路を全部つなぐと 441 kmあります。新潟から北海道の南端に届く長さがあります。 ・新潟県の高速道路ってそんなに長いの。 ○県内の高速道路はどんなところを通っていると思いますか。 ・広い範囲を通っていると思う。 ・自分たちが住んでいる地域以外にも高速道路は走っているのかな。</p>	◆これまでの生活を想起させる。 三択問題 ①東京 ②名古屋 ③北海道
展開（35分） 2 新潟県の高速道路について予想する。（5分） 3 副読本などを使って調べる。（10分） 4 調べて分かったことを発表する。（5分）	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"><p>＜学習課題＞ 新潟県内の高速道路は、どんなところを通っているのだろう。</p></div> <p>○どのような予想がたてられましたか。 ・県内どこでも通っていると思う。 ・通っていないところはないんじゃない。 ○副読本から、みなさんの予想した考えが正しいのか調べてみましょう。 ・P. 43 に高速道路の本数が載っているよ。 ・P. 44 に高速道路の様子が載っているよ。 ○P. 43 の地図に高速道路の名前を入れてみましょう。 ・5 本も通っているんだね。 ・知らない高速道路もあった。 ○副読本から、県内の高速道路がどんなところを通っているのか分かりましたか。 ・新潟県の広い範囲を通っている。 ・副読本を見ると国道も高速道路とほとんど同じ所を通っている。 ・新潟、長岡、上越など、人口の多い都市は通っている。 ・利用する人が多いから人口の多い都市を通るんだね。 ○高速道路が通っていない場所はあります</p>	◆県内の高速道路が、どんなところを通っているのか予想させる。 ◆副読本 P. 43～46 にある、道路に関わるページを参考にする。 ◆デジタルコンテンツも使い、一緒に作業する。 ◆新潟県の高速道路の特色について調べたことを、学級全体で確認する。

<p>5 新潟県の高速道路の特色について分かったことを全体で確認する。 (15分)</p> <p>終末 (5分) 6 まとめを書く。</p> <p>7 振り返りを書く。</p>	<p>たか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路が通っていないところがある。 ・ここには何があるのだろう。 ・高速道路は通れないのかな。 <p>○道路が通っていない地域がどんな地域なのか地図帳で調べてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路が通っていないところは山地になっている。 ・高い山を避けて高速道路が走っているんだね。 <p>○新潟県内の高速道路が、どんなところを通っていたのか、調べたことをまとめしよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><まとめ></p> <p>新潟県内の高速道路は、高い山などを避けて、人口の多い都市を通りている。</p> </div> <p>○まとめを書いた人から、今日の振り返りを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路は1本しかないと思っていたけど、県内に5本あり、広い範囲にわたって道路が伸びていることが分かった。 ・県内の高速道路は、人口の多い町を必ず通り、高い山を避けて通っていることが分かった。次は、他の乗り物についても調べたいと思います。 	<p>◆新潟県の高速道路の特色として山間部を避けて道路が通っていることを確認する。</p> <p>■新潟県の高速道路の特色について記述している。</p>
--	--	--

1 単元名 第4学年 「 交通(道路) 」

2 本時の計画 (副読本 P43~49 デジタルコンテンツ「新潟県の交通、スノーシェッド」)

(1) 本時のねらい

新潟県内の道路について、役割分担をして調べ、互いに伝え合う活動を通して、県内の道路の工夫や特色、人々の暮らしを支えていることを理解することができる。(知識・技能)

(2) 本時の展開

学習活動	○教師の働き掛け・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
導入 (3分) 1 新潟県の交通機関について大まかにとらえる。	○新潟県はとても広いですが、どうやって人やものは移動していますか? ・自動車・電車・船・飛行機 ○その中で一番利用されているのはどこを通るでしょう? ・道路がよく使われます。 ○どんな道路がどこを通っていてどんな工夫がされているのでしょうか。	◆P44の地図とデジタルコンテンツを提示する。
展開 (37分) 2 学習課題を設定する。	<p style="text-align: center;"><学習課題> 新潟県の道路の種類や工夫を調べて伝え合おう。</p>	◆「どこを通っているか」「どんな工夫がされているか」「なぜ工夫されているのか」「くらしとどうかかわっているか」という視点をもたせる。 ◆P46の雪対策(消雪パイプ、スノーシェッド)や渋滞対策、安全対策、便利さなどが分かる写真を提示する。 ◆まとめ方はアナログでもデジタルでもよいこととする。分かりやすく簡潔にまとめることを意識させる。
3 調べる	○どのようなことを調べますか? ・高速道路やサービスエリアについて ・雪が多いところの道路の工夫について ・安全や渋滞の対策について ・便利な施設について ○グループで調べましょう。 ・役割を分担し、副読本、インターネット、図書資料、デジタルコンテンツ等で調べる。	
4 発表する	○調べたことを発表しましょう。 ・高速道路で速く移動できる。 ・道の駅やサービスエリアで休憩や買い物ができる。 ・雪に強い道路の工夫がある。	■友達と協力しながら調べたり考えを伝え合ったりしている。
終末 (5分) 5 振り返りをする。	<p style="text-align: center;"><まとめ> 新潟県の道路はいろいろな種類があり、生活を支えるためにいろいろな工夫がされている。</p>	■県内の道路の種類や工夫特色などを理解している。
	・道路の種類や役割が分かりました。 ・道路が自分の生活につながっていることや道路にはたくさんの工夫があることが分かりました。	

1 単元名 第4学年「交通【航路】」

2 本時の計画(副読本P50~51 デジタルコンテンツ No.24)

(1)本時のねらい

新潟県内の航路について、就航している路線や船を調べることを通して、その特色を理解することができる。(知識・技能)

(2)本時の展開

学習活動	○教師の働き掛け ・予想される児童の反応	◆指導上の留意点 ■評価
導入 (8分) 1 新潟県における主要交通機関について考える。	<p>○みんなは旅行で行ってみたいところはあるかな。</p> <ul style="list-style-type: none">・東京に行ってみたい！・大阪も気になるな。・北海道にはまだ行ったことがないから行ってみたいです！ <p>○色々な場所に行ってみたいのですね。その行ってみたい場所にはどのような乗り物で行くことができますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・東京には新幹線で行ったことがあるから、新幹線に乗れば遠くまで簡単に行けるよ。・大阪や福岡には飛行機で行くことができそう。・佐渡に旅行に行ったときは船で行ったよ。・車で遠くまで行ったこともあるよ。 <p>○色々な乗り物がありますね。新潟県には2つの島がありますが、なんという島か知っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・佐渡島！・粟島！ <p>○よく知っていますね！その2つの島へはどのような乗り物で行くことができますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・船！ <p>○どんな船で行くことができるか分かりますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・大きい船があったかな。・よく分からないな。	<p>◆これまでの経験を想起させる。</p>
展開 (32分) 2 新潟県の航路について調べる。 3 調べたことを発表する。	<p>〈学習課題〉</p> <p>新潟県では、どのような船が運航されているのだろうか。</p> <p>○新潟県で運航している船を調べてみましょう。佐渡、粟島、そのほかの航路、気になるところから調べてみましょう。</p> <p>○調べたことを発表しましょう。佐渡航路についてはどうですか。</p> <ul style="list-style-type: none">・新潟から両津、直江津から小木の2つの航路があることが分かりました。・新潟～両津航路は、車を積むことができるカーフェリーと、スピードの速いジェットフォイルが運行していることが分かりました。 <p>○粟島航路はどうですか。</p> <ul style="list-style-type: none">・フェリーと高速船の2せきが運航しています。・冬の日本海は海が荒れて、船が出せないときもあるそうです。	<p>◆副読本P50・51に掲載されている佐渡航路・粟島航路・そのほかの航路のうち、興味をもったところから調べるように声をかける。</p> <p>◆佐渡汽船や粟島汽船、新日本海フェリーのホームページも必要に応じて活用するように声をかける。</p> <p>◆ICT端末も必要に応じて活用させる。</p>

<p>終末（5分）</p> <p>4 今日の授業の振り返りを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人だけでなく、島で必要なものもたくさん運んでいます。 <p>○そのほかの航路はどうですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道や福井に行くフェリーがあります。 日本だけではなく、韓国や中国へ荷物を運ぶコンテナ船が運航されています。 <p>○たくさんの意見が出ましたね。新潟県ではどんな船が運航されているかまとめましょう。</p> <p>〈まとめ〉</p> <p>佐渡や粟島への船だけでなく、北海道や福井、外国に行く船が運航されている。貨物の船も多く運航されている。</p> <p>○それでは今日の学習を振り返りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最初は船の事はよく分かりませんでしたが、新潟の島や北海道など色々なところに船が運航されていることが分かりました。他の乗り物についても調べたいと思います。 佐渡に船で行ったことはありましたが、船の種類や佐渡以外の船の事は初めて知りました。普段は車で旅行することが多いですが、船でも旅行してみたいと思いました。 	<p>■新潟県では、県内の離島だけでなく、北海道や福井、外国にも定期航路があることについて理解し、振り返り作文に記述している。</p>
---------------------------------------	--	---

1 単元名 第4学年「交通【航空路】」

2 本時の計画（副読本P52 デジタルコンテンツ「航空路」）

(1) 本時のねらい

新潟県内の航空路について、就航している路線を調べることを通して、その特色を理解することができる。（知識・技能）

(2) 本時の展開

学習活動	○教師の働き掛け ・予想される児童の反応	◆指導上の留意点 ■評価
導入（7分） 1 新潟県における主要交通機関について考える。	<p>○みんなは旅行で行ってみたいところはあるかな。</p> <ul style="list-style-type: none">・東京に行ってみたい！・大阪も気になるな。・北海道にはまだ行ったことがないから行ってみたいです！ <p>○色々な場所に行ってみたいのですね。その行ってみたい場所にはどのような乗り物で行くことができますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・東京には新幹線で行ったことがあるから、新幹線に乗れば遠くまで簡単に行けるよ。・大阪や福岡には飛行機で行くことができそう。・佐渡に旅行に行ったときは船で行ったよ。・車で遠くまで行ったこともあるよ。 <p>○色々な乗り物がありますね。今日はその中でも飛行機について考えていきたいと思います。飛行機に乗るときにはどこに行きますか？</p> <ul style="list-style-type: none">・空港！・新潟だと新潟空港があります。 <p>○そうですね。新潟空港はどこにあるか知っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・新潟市にあります。・新潟市の中でも東区にあったと思います。 <p>○新潟空港からどこに行けるかは分かりますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・大阪や福岡には行けると思います。・他はあまりよくわからないな。調べてみたいです。	<p>◆これまでの経験を想起させる。</p>
展開（32分） 2 新潟県の航空路について調べる。 3 調べたことを発表する。	<p><学習課題></p> <p>新潟空港からどこに行くことができるのかな。</p> <p>○新潟空港からどこに行けるのか調べてみましょう。 また、調べて気が付いたことも考えましょう。</p> <p>○調べたことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・札幌や名古屋、大阪などの人口の多い都市に行けることが分かりました。・東京は新幹線ですぐに行けるので、それ以外の人口の多い都市に行けることが分かりました。・韓国や中国、台湾など新潟から近い外国の場所へ直接行けることが分かりました。・100万人以上の人人が新潟空港を使っていて驚きました。・便利に色々なところに移動できることが分かりました。	<p>◆副読本 P52 に掲載されている「新潟空港からの定期路線」を読み取らせる。</p> <p>◆新潟空港のホームページも必要に応じて活用するよう声をかける。</p> <p>◆ICT 端末も必要に応じて活用させる。</p>

終末（5分）

4 今日の授業の振り返りを書く。

<まとめ>

人口の多い日本の都市や、近くの国に直接行くことができる。

○それでは今日の学習を振り返りましょう。

- ・最初はそんなに飛行機で新潟から行ける場所は多くないと思っていましたが、全国の色々な場所や海外にも直接行けることを知って驚きました。どんな飛行機が新潟に来ているのか、さらに知りたいと思いました。
- ・大阪や札幌に行けることは知っていましたが、外国にも行けるということは知りませんでした。さらに色々な国に新潟から直接行けるようになるといいなと思いました。

■新潟空港から国内の主要都市だけでなく、近隣諸国的主要都市にも直接行けることを理解し、振り返り作文に記述している。

1 単元名 第4学年 「自然災害から人々を守る」

2 本時の計画(副読本 P53~57,デジタルコンテンツ No27)

(1) 本時のねらい

中越地震の被害の様子、地震直後の生活の様子を調べることを通して、地震による被害の様子や人々への影響について理解することができる。

(2) 本時の展開

学習活動	○教師の働き掛けと・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
導入 (10分) 1 写真・地図・年表から中越地震の被害の様子を知る。	○新潟県ではこれまでにどんな自然災害が発生してきただろうか。 (過去の自然災害の年表等) ・最大深度7の地震が中越で起こった。	◆前時の学習を想起させる。中越地震の被害に注目させる。 ◆P54から中越地震発生時の震度や、地震による被害があつたことを一部紹介する。
展開 (25分) 2 中越地震の体験談を聞く。	<p style="text-align:center;"><学習課題></p> <p style="text-align:center;">中越地震では、どんな被害があったのだろうか。</p> <p>○中越地震の被害にあわれた方の体験談を聞こう。</p>	◆デジ27復興から創造へ ②震源地川口の方のお話 (地震の被害)の動画を視聴。
3 中越地震の被害の様子、地震直後の生活の様子を調べる。	○どんな被害があったのだろうか。 ・土砂崩れで、道路が通行止めになった。建物が崩れて住めなくなるなど大変な被害があった。 ・電気ガス水道が止まり大変な生活だった。 ・避難所で多くの人が生活していた。 ・自衛隊や県外からの救援があった。	■自然災害による被害の様子や人々への影響について理解している。 ◆関係機関の協力に着目させ、人々を活動についての学習へつなげる。
終末 (10分) 4 地震による被害や影響についてまとめ、生活を守る活動や備えについての視点をもつ。	<p style="text-align:center;"><まとめ></p> <p style="text-align:center;">道路や建物が壊れ、電気ガス水道が使えなくなるなど大きな被害があった。</p> <p>・被害にあった人々の生活を守るために誰がどのような取組をしているのだろう。</p>	<p style="text-align:center;">(今後の学習計画の見通し)</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の地震に備える施設・地域にくらす人々の備え・市役所や防災センターでの調査・次時以降で、デジ27の動画(復興を未来に伝える活動)や、デジ28の1・2・3を活用していく。

1 単元名 第3学年「自然災害から人々を守る」

2 本時の計画（副読本 P55～56、デジタルコンテンツ No.27）

（1）本時のねらい

復旧・復興に向けた取組について、避難所での人々の活動について調べることを通して、災害時の人々の生活の様子を理解することができる。（知識・技能）

（2）本時の展開

学習活動	○教師の働き掛け・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
導入（5分） 1 避難時・避難所の写真を見て気付いたことをまとめる。	○P55 の写真の資料から気付くことはありますか？ <ul style="list-style-type: none">・ヘリに乗ろうとしている。・自衛隊がいる。・たくさんのひとが避難している。・布団が敷き詰められていて狭そう。 ○避難した人たちは、どんな生活をしていたのかな？	◆P55 の写真の資料を読み取らせる。
展開（35分） 2 副読本P55～56に目を通して、情報をまとめる。 3 避難所の様子を知る人の話を聞く。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"><p><学習課題> ひなん所の人びとはどのように生活しているのだろう？</p></div> <p>○副読本 P55～56 ページの文章から、避難所の様子について分かる部分に線を引きましょう。</p> <p>○線を引いた部分を発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・自衛隊が食事（炊き出し）を用意したり、お風呂を沸かしたりしている。・山形県や富山県などの消防署や警察署の人が協力しに来ている。・全国から多くのボランティアが集まっている。 <p>○それでは、実際に避難所で生活した人の話を聞いてみましょう。</p> <p>○話を聞いて分かったことや感想を発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・今の自分たちの生活とは違いすぎて驚いた。	<p>◆児童の実態に合わせ、ペアやグループ学習を取り入れる。</p> <p>◆発表するときの形式や時間などを予め伝える。</p> <p>◆デジ27「復興から創造へ」 ②◆復旧・復興へ を視聴させる。</p> <p>◆今の生活と比べさせながら視聴するとよい。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・今の生活は当たり前じゃないと思った。 ・避難所にいる人同士で協力しなければ生活できないことが分かった。 ・全員が避難所内に入れないんだね。 ・灯りがないのは大変そう。 ・自主的に協力して食事を作っていた。 ・水の確保が大変だった。 	
<p>4 副読本の情報や感想についての発表を聞いて、避難所での生活についてまとめる。</p> <p>終末（5分）</p> <p>5 今日の授業の振り返りを書く。</p>	<p style="text-align: center;">＜まとめ＞</p> <p style="text-align: center;">ひなん所の人びとは、県内外のボランティアなどの人と協力し、助け合いながら生活している。</p> <p>○まとめを書いた人から、今日の振り返りを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、避難所ではいろいろな人が協力して生活していることが分かりました。避難所にいる人だけではなく、自衛隊やボランティアの人が県外から来て活動していることが分かりました。 ・わたしは、自衛隊やボランティアによる炊き出しやお風呂をわかすことなど、避難所でどんなことが行われているかが分かりました。 ・避難所での生活は、避難所に入れない人がいたり、灯りが無かつたりして大変ことが多いことが分かった。 	<p>◆まとめは簡素な文章だが、避難所ではいろいろな活動が行われているということを押さえる。</p> <p>■避難所で生活している人の様子や自衛隊・ボランティアの活動の様子について記述している。</p>

1 単元名 第4学年 「新潟県の伝統と文化」

2 本時の計画（副読本 P58～61、デジタルコンテンツ No.29）

(1) 本時のねらい

新潟県の年中行事について、行事にかかわる人々の努力や工夫、様子などを調べることを通して、年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや人々の願いが込められていることを理解することができる。（知識・技能）

(2) 本時の展開

学習活動	○教師の働き掛け・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
導入（5分） 1 学習の見通しをもつ。	○新潟県にはどんなお祭りや行事があるでしょうか。 <ul style="list-style-type: none">・○○を見に行ったことがある。・ニュースで○○を見たよ。人がたくさん集まっていた。	◆少し考えさせた後に P.59 を提示し、生活経験を想起させる。
展開（35分） 2 「おててこ舞」を知る。	<p style="text-align: center;"><学習課題> お祭りにかかわる人たちの思いや願いはなんだろう。</p> <p>○糸魚川市に伝わるおててこ舞にかかる人々の思いについて考えよう。<ul style="list-style-type: none">・たくさんお客様がいるからみんなが楽しみにしているのかな。・大人も子どもも一生懸命に練習して本番に臨んでいるから大事な行事なのかな。・お祭りには長生きなどの願いがこめられている。・500年も受け継がれているってすごいな。○どうして人々はおててこ舞を残そうと努力しているのだろう。<ul style="list-style-type: none">・地域に伝わる大切なものだから残さなくてはいけない。・人がつながる大切な場だから。</p>	◆デジ 29 おててこ舞 ◆副読本 P58～61 ◆年表等で 500 年という長さを視覚的にとらえさせたい。 ◆考えたことを伝え合い、考えを広げたり深めたりできるようにする。 ◆山寺地区から根知地区全体に広がっていることに着目させ、伝統を守ることの難しさや工夫に気付かせる。
3 伝統芸能を受け継ぐ意味や努力、工夫を考える。 終末（5分） 4 学習を振り返る。	<p style="text-align: center;"><まとめ> おまつりには長生きしたいなど願いが込められていて、ずっと受け継がれてきた。</p> <ul style="list-style-type: none">・自分の地域の年中行事について調べたり参加したりしたい。・年中行事が長く受け継がれてきたことに驚いた。自分も大切にしたい。	■年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、人々の願いが込められていることを理解している。

1 単元名 第4学年「人々のくらしとまちづくり」

2 本時の計画（副読本P63 デジ「2000(平成12)年ころの新潟県の市・町・村」）

(1) 本時のねらい

新潟県の特色ある地域の学習の導入として、インターネットで様々な市町村について調べてまとめた活動を通して、各市町村の特色について興味をもつことができる。（学びに向かう力、人間性等）

(2) 本時の展開

学習活動	○教師の働き掛け・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
導入（5分） 1 新潟県の市町村について、課題を立てる。	<p>○新潟県にはどんな市町村があるのかな。 ・村上市 ・燕市 ・粟島浦村</p> <p>○その市町村には、どんな特色（=他と特に異なっているところ。他のものよりすぐれて目立つところ）があるのかな。 ・どこもお米は有名だと思う。 ・村上市は鮭かな。</p> <p>＜学習課題＞ 県内のどの市町村も、特色は同じなのだろうか。</p> <p>・新潟市について調べてみたい。</p>	◆学習課題については、左のように提案している。しかし、授業者が「○○市の特色は何か」などと、指定してもよい。
展開（35分） 2 県内の市町村について調べ、友達の回答と比べる。	<p>○どの市町村について調べたいかな。 ・村上市 ・燕市 ・三条市 ・新潟市</p> <p>○どんなことについて調べようかな？ ・名産 ・観光地 ・有名人 ・面積</p> <p>○インターネットを使って、自分が選んだ市町村について調べてみよう。調べたことは、ノートにメモをしよう ・やっぱり、村上市は鮭が有名なんだ。 ・お酒が有名な地域もあるんだ。</p> <p>○調べたことをGoogle フォームから送信しよう。みんなの回答はGoogle スプレッドシートに表示されるよ。</p> <p>○県内のどの市町村も、特色は同じなのかな。 ・燕市も三条市も背脂ラーメンが有名だった。どうして。 ・海に面している市町村は、魚が有名なところが多いな。 ・お米はいろいろな市町村で作っているみたいだ。</p>	◆児童の発言をもとに、Google フォームの項目を作成する。 ◆クラスルームなどをもちいて、Google フォームとGoogle スプレッドシートのアドレス（またはQRコード）を児童に周知する。 ◆時間があまった場合は同じ市町村についてさらに調べさせたり、違う市町村について調べさせたりする。
終末（5分） 3 本時の学習を振り返る。	<p>○今日分かったことをまとめましょう。</p> <p>＜まとめ＞ 県内の市町村には、地域によって特色がある。</p> <p>○今日の振り返りをしましょう。 ・自主学習で、もっと上越市について調べてみたい。 ・燕市も三条市も背脂ラーメンが有名な理由を知りたい。 ○これから「○○市」について学習していきましょう。</p>	◆児童の発言をもとに、まとめをする。 ■各市町村の特色について具体的に記述している。 ◆授業者の単元構想によつて、「新潟市」「粟島浦村」などを入れる。

【参考資料1 Google フォームのイメージ画像】

The screenshot shows a Google Form with a colorful header illustration of a city and nature. The title of the form is "人々のくらしとまちづくり". There are two required questions marked with asterisks: "自分の名前 *" (Name *) and "市町村名 (漢字) *" (Town/Village Name in Chinese Characters *). The "回答" (Answer) button is highlighted with a red box.

【参考資料2 Google フォームと Google スプレッドシートの連携方法】



【参考資料3 Google スプレッドシートのイメージ画像】

	A	B	C	E	F
1	Form_Responses	▼	▼	▼	▼
2	タイムスタンプ	▼	自分の名前	▼	市町村名
3	2025/07/29 14:00:24	▼	斎藤光輔 1	▼	村上市
4					鮭
5					イヨボヤ会館
6					
7					

1 単元名 第5学年 「雪に強いまちづくり～妙高市～」

2 本時の計画(副読本 P64~65 デジタルコンテンツ「妙高市の冬」)

(1)本時のねらい

妙高市の大雪の様子に着目して、大雪に備えた対策を調べることを通して、妙高市やそこに暮らす人々が雪に強いまちづくりに取り組んでいることを知ることができる。

(知識・技能、思考力・判断力・表現力等)

(2)本時の展開

学習活動	○教師の働き掛けと・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
導入 (10分) 1 妙高市の冬の様子を見て、気付いたことを発表する。	<p>○デジタルコンテンツ「妙高市の冬」を見て、気付いたことや思ったことなどを発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none">・すごく雪が多い。・きれいな雪山。・スキー場があつていいな。・屋根の雪下ろしは大変そうだ・雪の中の登校は不便だな。など <p>○妙高市では、たくさん雪が降りますね。大雪に負けないで冬を過ごすために、どんなことをしているのでしょうか。</p>	<p>◆妙高市の位置が確認できるよう、新潟県の地図を掲示しておく。</p> <p>◆妙高市の積雪の多さや除雪の様子に着目させるようにする。</p> <p>◆副読本P13の雨温図(高田)を見せ、冬の雨量(降雪)の多さを知らせるのもよい。</p>
展開 (30分) 2 副読本をもとに調べたり、話し合ったりする。	<p>○副読本P65「雪に強いまちづくり」読んで、どのようなことをしているのか探そう。</p> <ul style="list-style-type: none">・道路を大型除雪車で除雪している。・消雪パイプで雪を溶かしている。・流雪溝に雪を捨てている。・木が折れないように冬囲いをしている。・屋根の雪が自然に落ちるように落雪式屋根になっている。など	<p>◆ワークシートを活用し、表にまとめるようにする。</p> <p>◆市民の交通を守るために、一晩中、除雪車を走らせていることを補足説明する。</p> <p>◆各家庭でも、小型の除雪車(ピーター)を使って除雪をしたり、市街地では、流雪溝を活用して排雪をしたりしていることを補足説明する。</p>

	<p>○雪に強いまちづくりの取り組みや工夫をたくさん見付けることができましたね。</p> <p>○見つけたことをもとに、分かったことをまとめましょう。</p>	<p>◆デジタルコンテンツをもう一度見て、確かめるのもよい。</p> <p>◆ワークシートの活用。</p> <p>■妙高市の雪に強いまちづくりについてまとめている。</p>
終末（5分） 4 分かかったことをまとめ る。	<p><まとめ></p> <p>妙高市やそこでくらす人々は、除雪の仕組みを整えたり、雪国ならではの家作りを工夫したりして、雪に強いまちづくりに取り組んでいる。</p>	

めあて

どこ	していること
どうろ 道路	
かてい 家庭	

まとめ

妙高市やそこでくらす人々は、()を整えたり、()を工夫したりして、雪に()まちづくりに取り組んでいる。

1 単元名 第4学年「雪とともに生きる妙高市」

2 本時の計画（副読本 P66～67 デジタルコンテンツ No.21）

(1) 本時のねらい

冬の妙高市に外国人観光客が多く訪れることに着目し、雪を生かした妙高市の観光の工夫について考えることができる。
(思考力・判断力・表現力等)

(2) 本時の展開

学習活動	○教師の働き掛け・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
導入（15分） 1 妙高市の冬の写真を見て気付いたことを発表する。 2 どこの地域か考える。 3 グラフを見て、外国人観光客が多く利用している様子を調べる。	○写真を見て気付いたことを発表しよう。 <ul style="list-style-type: none">・雪がたくさんある。・生活するのが大変だな。・スキーをしている。楽しそうだね。・外国の人が、たくさんいる。 ○これらの写真はどこの地域だと思いますか。 <ul style="list-style-type: none">・外国かな。・北海道かな。・南魚沼市かな。・妙高市かな。 ○副読本 P66、67 の「妙高市の年別外国人観光客数」、「国・地域別外国人観光客数」のグラフを見て、気づいたことを発表しよう。 <ul style="list-style-type: none">・年々増えている。・外国人観光客の半分以上がオーストラリアから来ている。・いろいろな国から来ている。	◆雪に対する良いイメージだけではなく、負のイメージの写真もあるとよい。 ◆外国人観光客が、多く利用していることに気付かせるようにする。 ◆妙高市であることを伝える。必要に応じて、P64 を用いて説明をする。 ◆P67 グラフを用いて調べる。 ◆先に年別外国人観光客数のグラフを見せる。 ◆外国人観光客がたくさん来ていることをおさえる。
展開（25分） 4 副読本をもとに調べたり、話し合ったりする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p style="text-align: center;"><学習課題> 冬の妙高市に外国人観光客がたくさん訪れる秘密はなんだろうか。</p></div> ○副読本 66、67 ページの「観光と雪とのかわり」を読んで秘密を探そう。 <ul style="list-style-type: none">・妙高の雪質はとてもいいんだね。・スキー場がたくさんあるね。・古くからスキー場があったんだね。	◆全体で読みながら探してもよいし、個々で探してもよい。 ◆インターネットを活用して調べるのもよい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・赤倉温泉には、オーストラリア人が経営する宿泊施設があるよ。 ・英語のレストランマップがある。 ・Wi-Fiの整備が整っている。など <p>○外国人観光客がたくさん訪れる秘密をたくさん見つけましたね。</p> <p>○見つけた秘密をもとに、妙高市の取組について分かったことをまとめましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆インバウンドについて説明をする。 ◆必要に応じて、オーストラリア人が多い理由について説明する。(→南半球の季節の違い) ◆ワークシートを活用して、まとめてもよい。 <p>■妙高市が雪を生かした冬の観光づくりに取り組んでいることを、資料を基に考えることができる。</p>
終末（5分）	5 見つけた秘密をもとに、分かったことをまとめます。	
6 振り返りと次時の予告をする。	○次は、たくさんの雪を生かした妙高市の産業について、調べていきましょう。	

ワークシート

年 組 番 名前()

学習課題

みつけたひみつ

まとめ

妙高市は、() 生かして、

()

取り組みをしている。

1 単元名 第4学年 「②自然環境や史跡・文化財を生かした佐渡市」

2 本時の計画（副読本 P70～71、デジタルコンテンツ「佐渡島の金山」キッズページ）

(1) 本時のねらい

佐渡市にある「佐渡島の金山」に着目して、金山の昔の様子を捉え、歴史的にどのような特色をもつた地域であるかを捉える。（知識・技能）

(2) 本時の展開

学習活動	○教師の働き掛けと・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
導入（5分） 1 写真を見せる。	○これは何か。（写真：道遊の割戸） ・金山だ　・佐渡にある ○なぜ、このような形をしているのか。 ・地震で割れた・人が掘った・元々の形 ○実は、金をとるために、山を切り崩して このような形になった。	◆佐渡市の地図 ◆金山「道遊の割戸」の写真
2 学習課題を設定する。	<p style="text-align: center;"><学習課題> 佐渡金山について調べよう。</p>	
展開（32分） 3 調べる内容や方法を確認する。	○どのようなことを調べたいか。 ・どのように山を掘って金をとったのか。 ・いつごろ、金がとれたのか。 ・どのくらいの量がとれたのか。 ・とれた金をどうしたのか。 ・どのくらいの人が働いていたか。 ○どのように調べたらよいか。 ・副読本　・インターネット　・本 ○調べる。（調べたこと 右：参照）	◆子どもから出された質問を示し、調べる内容について見通しをもたせる。 ◆P70・62 キッズ HP（クイズに多数掲載） ◆調べたことをノートに書きせる。 ・いつ 江戸時代～平成 400 年間 ・どのくらい 金 78t 銀 2330t 銅 5410t ・どのように 手作業 ①採鉱②選鉱③製錬 奉行所で小判を作った ・金の行方—幕府のお金 ・5 万人（今の佐渡の人口）
終末（8分） 5まとめをする。	<p style="text-align: center;"><まとめ> 佐渡金山は、江戸時代日本最大の金山だった。</p>	
6振り返りをする。	○ふり返りを書く。 ・金だけでなく銀や銅もとれた。 ・佐渡でとれた金が、江戸幕府の財政を支えていたことに驚いた。	
7 金山を守る人の話を読み、次時の見通しをもつ。	○金山の史跡を守るために人たちがいるようだ。どのような取組をしているのだろうか。	■「佐渡島の金山」について資料を読み取り、その特色を理解している。

1 単元名 第4学年「歴史ある史跡・文化財を生かしたまちづくり」

2 本時の計画（副読本 P71 デジタルコンテンツ「相川のまちなみの様子」）

(1) 本時のねらい

佐渡金山の史跡を守る取り組みについて調べることを通して、様々な立場の人々が佐渡金山のよさを守ろうと取り組んでいることを理解することができる。（知識・技能）

(2) 本時の展開

学習活動	○教師の働き掛け・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
導入（8分） 1 相川のまちなみの様子を見る。	○相川のまちなみを見てみましょう。 <ul style="list-style-type: none">・昔の建物がたくさん残っている。・昔の町の名前かな。 ○（ごみ集積所、消火栓、店など） <ul style="list-style-type: none">どうして、こんな色をしているのかな。・木や緑など、まわりの色と同じような色にしているみたい。・物が目立たないようにしているのかな。	◆「相川のまちなみの様子」 <ul style="list-style-type: none">・佐渡市 市役所、消火栓、防火倉庫、ゴミステーションなどの施設の色を落ち着いた色にしている。
展開（32分） 2 学習課題に対して、予想する。	<p style="text-align: center;">＜学習課題＞</p> <p style="text-align: center;">地域の人や市、会社の人たちは「佐渡島の金山」を守るために、どのような取り組みをしているのだろうか。</p>	◆地域の人や市、会社の人たちは、相川の景色や眺めを守るために、町並みに合った色・建物の高さにしていることを捉えさせる。
3 取り組みについて調べ、共有する。	○予想してみましょう。 <ul style="list-style-type: none">・観光客が来るからきれいにしている。・金山を紹介する看板やマップを作る。・泊まるところも増やしていると思う。 ○調べてみましょう。 <ul style="list-style-type: none">・市民団体 出前授業、環境整備、イベント活動・飲食業、宿泊施設 古民家を生かした宿、地元食材を使用	◆P71 を読んで調べる。 それぞれの立場の人たちが様々な取り組みの工夫をしていることを捉えさせる。
4 思ったことを発表する。	○金山に関わる人たちは、どんな思いでそれぞれの取り組みをしているのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none">・金山のすばらしさや佐渡のよさを知つてもらおうと、みんなで協力している。	◆取り組みに関わる人たちの思いを想像させ、まとめにつなげる。
終末（5分） 5まとめ、振り返りをする。	<p style="text-align: center;">＜まとめ＞</p> <p style="text-align: center;">市・地域・会社の人たちが知恵と力を出し合い、「佐渡島の金山」のよさを守り、伝えている。</p>	■金山を守るための取り組みや関わる人たちの思いを考え、具体的に記述している。

1 単元名 第4学年 「伝統産業で発展した十日町市」

2 本時の計画(副読本 P72~75 デジタルコンテンツ 16-12, 39, 40)

(1)本時のねらい

十日町市が行っている取り組みや伝統産業、自然環境について調べる活動を通して、十日町市のまちづくりの特色につながる問い合わせを考えることができる。
(思考力・判断力・表現力等)

(2)本時の展開

学習活動	○教師の働き掛けと・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
導入（10分） 1 大地の芸術祭の写真から十日町市に興味を持たせる。 2 大地の芸術祭が十日町市で行われている理由を考え、本時の学習課題を設定する。	○「新潟 観光」で画像検索しよう。 ・トンネルみたいな写真がたくさん出てきた。どこだろう。 ○十日町市で行われている理由を予想しよう。 ・自然が豊かだから。	◆新潟県の観光地として清津峡が注目されていることに気づかせ、十日町市について調べる動機付けを行う。 ◆十日町市の気候や自然環境を生かして大地の芸術祭が行われていることに気づかせる。
展開（25分） 3 写真や地図、本文から十日町市の気候や産業の特徴について話し合う。	<p style="text-align: center;"><学習課題>十日町市はどのようなところだろうか。</p> ○資料（デジ 16-12, 39, 40や副読本 P72）から十日町市がどんなところか読み取ろう。 ・雪がたくさん積もる場所だ。 ・十日町市は着物が有名なのかな。 ・雪が 3m以上積もる豪雪地帯。 ・長野県に近いところにある。	◆様々な資料から、雪が多く積もる気候と着物が有名な産業であることに気づかせる。 ◆デジ 16-12, 39, 40のつるし雛や雪と着物の写真や副読本P72の本文や地図から十日町市の気候や地形について考える。
終末（10分） 4 本時のまとめを行う。 5 疑問を出し合い、全体で単元のめあてを設定する。	<p style="text-align: center;"><まとめ>十日町市は、雪がたくさん積もり、着物が有名なところ。</p> ○十日町市について疑問を出し合おう。 ・なぜ着物が有名なのかな。 ・雪が関係しているのかな。 ・なぜ大地の芸術祭をしたのかな。 ○十日町市はどのようなまちづくりを行っているのだろう。	◆学習した内容を整理し、十日町市がどのようなところか自分の言葉でまとめる。 ■様々な資料から十日町市についての疑問を見出し、問い合わせとして表現している。

1 単元名 第4学年 「国際交流のさかんな新潟市」

2 本時の計画(副読本 P76, 77 デジタルコンテンツ No.41)

(1) 本時のねらい

新潟市に住む外国人について、外国人住民の国別人数の資料を読み取ることを通して、アジアやヨーロッパなど様々な国の人人が住んでいることを理解することができる。 (知識・技能)

(2) 本時の展開

学習活動	○教師の働き掛けと・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
導入 (10分) 1 新潟市の飲食店の看板から分かることを考え、課題を立てる。	○新潟市にある飲食店の看板を見て気付くことを発表しよう。 <ul style="list-style-type: none">日本、インド、ネパールの国旗がある。色々な国の言葉が書いてある。新潟市には色々な国の人人が住んでいるのかな。	◆P76「国旗のある飲食店の看板」を提示する。 ◆新潟市に住む外国人に着目させる。
展開 (25分) 2 どのような国の人たちが住んでいるのか予想させる。	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><学習課題> 新潟市にはどのような国の人たちが住んでいるのか。</p> <p>○予想してみよう。<ul style="list-style-type: none">ハングル文字が書いてある商品を見たことがある。だから韓国の人人が住んでいると思う。アメリカの食べ物は多そうだし、アメリカの人も住んでいるんじゃないかな。</p>	
3 グラフを読み取り、課題についてまとめる。	<p>○グラフを見て調べよう。<ul style="list-style-type: none">中国やベトナム、韓国の人が多いんだ。日本に近いアジアの国が多いな。ロシアやアメリカの人もいるね。その他にも色々な国の人人が住んでいるね。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><まとめ> 新潟市には、アジアやヨーロッパなどの様々な国の人たちが住んでいる。</p>	◆P76「新潟市の外国人住民の国別人数」を提示する。他の内訳は、新潟市HPの「外国人住民(国籍別)」で確認できる。 ■新潟市に様々な外国人が住んでいることを理解することができる。
終末 (10分) 4 新潟市にある領事館について知る。	○外国の人が多く住む新潟市には、5つの国の領事館という施設が置かれている。次の写真はどの国の領事館か考えてみよう。 <ul style="list-style-type: none">赤と白と青の国旗があるからフランスかな。マトリョーシカを持っているからロシアだ。	◆領事館について説明する。 ◆P77の5つの領事館の写真を提示し、どこの国の領事館か考えさせる。
5 領事館の人の話を聞き、次時の見通しをもつ。	○中国領事館の方のお話を聞いてみよう。 <ul style="list-style-type: none">日本と仲良くしたいと思ってくれているね。「日本と中国の交流のため頑張っていきたい」と言っていたけど、どのような交流をしているのかな。	◆デジ41「中国領事館の人のお話」の動画を見る。 ◆日本と様々な国がどのような交流を行っているかに着目させる。

1 単元名 第4学年「国際交流のさかんな新潟市」

2 本時の計画（副読本 P76～79、デジタルコンテンツ No.42・43・44）

(1) 本時のねらい

新潟市にやってくる外国人の出身国や人数、国際交流事業、姉妹都市との交流などに着目し、調べてまとめる活動を通して、新潟市の国際交流の様子が分かる。（知識・技能）

(2) 本時の展開

学習活動	○教師の働き掛け・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
導入（5分） 1 デジタルコンテンツ 43 のクイズをし、新潟市と外国とのつながりについて関心をもつ。	○これは新潟市とつながりがある国のクイズです。国旗を見てどこの国かわかるかな。 ・たくさんの国が出てきたね。 ・でも、どんなつながりがあるんだろう。	◆デジタルコンテンツ 43 のクイズを行う。 ◆裏見返しの地図で交流のある外国の位置を確認する。
2 新潟市の外国人住民の国別人数のグラフから、どの国の人が多いかを予想する。	○これは、新潟市の外国人住民の国別人数のグラフです。新潟市には外国人の方が多く住んでいますが、どの国の方が一番多いでしょう。 ・アメリカかな? ・中国だよ。海の向こうだから近いよ。 ○正解は「中国」の方々です。 ・えー! ・2位はベトナムだ!	◆副読本 P76 のグラフ「新潟市の外国人住民の国別人数のグラフ」の国名部分を隠して児童に問う。
3 本時で調べることや学習課題を確認する。	○新潟市は、これらの様々な国々とどのような交流をしているのでしょうか。調べてみましょう。	■新潟市と外国とのつながりについて、写真やクイズから関心をもち、調べる内容を理解している。
展開（30分） 4 ①「新潟市国際交流協会の役割」②「外国都市との交流」の2つの観点から調べて、まとめる。	<p style="text-align: center;"><学習課題> 新潟市は、外国人の人やまちと、どのような交流をしているのだろうか。</p> <p>○次の3つの観点に着目して、新潟市の外国人の人やまちとどのような交流がされているか調べてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・新潟市には国際交流協会があって、外国人から来た人を助けているんだ。・新潟市内の小学校では、外国の小学生と交流をしているぞ。やってみたいな。・新潟市は多くの国と姉妹都市を結んでいるんだね。韓国の方とはファンシヨーも行っているんだね。 <p>○どんなことが分かりましたか。発表しましょう。そして、まとめよう。</p>	<p>◆副読本 P76～79 及びデジタルコンテンツ 42・43・44 を使いながら調べる。</p> <p>◆班活動で行い、役割分担をしてもよい。</p> <p>◆グループ内で調べたことを話し、聞き合い、学級で共有する。</p>
終末（10分） 5 調べたことをまとめ、発表する。		
6 学習のまとめと振り返りをする。	<p style="text-align: center;"><まとめ> 新潟市は、外国人の人やまちと様々な活動で積極的に交流を行っている。</p> <p>○今日の学習の振り返りを書きましょう。</p>	■新潟市と外国人の人やまちとの交流の様子を具体的な言葉で説明している。